

WHO 神戸認知症プロジェクト  
×  
ヘルスケアデータ連携システム



# 認知症による 要介護の予防をめざして

オープン  
シンポジウム

「健康創造都市 KOBE」における認知症による要介護の予防をめざし、WHO 神戸認知症プロジェクトの研究  
成果の社会実装に向けて、ヘルスケアデータ連携システムを利用する研究者との公開シンポジウムを開催し、  
今後の展望を広く関係者と共有します。

2 0 2 2

3.24

17:00 - 18:30

Zoom ウェビナー

[定員 500 名]

参加無料 / 要事前申込

<https://www.tri-kobe.org/>



## プログラム

司会 河野 健一 (公財) 神戸医療産業都市推進機構  
医療イノベーション推進センター副センター長

### 要介護予防に向けた TRI の取り組み

中川 聡史

(公財) 神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センター  
スタディマネジメントグループ グループリーダー

#### 講演 1

### 認知症の社会負担軽減に向けた神戸 プロジェクトの研究成果と社会実装に向けて

永井 洋士

京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構 教授

#### 講演 2

### 要介護リスク個別予測モデルの開発について

榎林 陽一

神戸大学大学院医学研究科 AI・デジタルヘルス科学分野 特命教授

#### 講演 3

### ヘルスケアデータ連携システムの意義

三木 竜介

株式会社リンクアンドコミュニケーション CMO / 神戸市健康データ活用専門官

### パネルディスカッション

座長 川本 篤彦

(公財) 神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センター  
センター長

パネリスト 永井 洋士 榎林 陽一 三木 竜介

主催



医療イノベーション推進センター  
Translational Research Center for Medical Innovation

お問い合わせ

オンライン参加登録事務局

[triwebinar@gmail.com](mailto:triwebinar@gmail.com)